

第 4 次丸亀市生涯学習推進計画
進行管理表
(令和 4 年度)

丸亀市市民生活部生涯学習課

令和 5 年 6 月 8 日

成果指標一覧

基本 目標	基本 施策	指 標 項 目	基準値 (令和2年度)	令和4年度	目標値 (令和7年度)
1	(1)	オンライン講座実施数	0件	3件	5件
		主な社会教育施設（注1）利用者数	381,244人	492,076人	400,000人
	(2)	ジュニアリーダーが新たに養成された人数（延べ）	5人／年	9人	25人／4年
		市民学級の参加者数	461人	618人	600人
	(3)	地域いきいき講座の参加者数	3,351人	7,533人	3,500人
2	(4)	生涯学習人材バンク登録者数	0人	55人	100人
		NPO、企業、大学等による講座の企画・提案講座数	年間5講座	7講座	年間6講座
	(5)	地域コーディネーター（注2）養成者数	年間12人	9人	年間12人
		生涯学習クラブ登録団体数	354団体	328団体	360団体
3	(6)	地域学校協働活動（注3）とコミュニティ・スクール（注4）の一体的推進に係る研修会参加者数	年間0人	24人	年間30人
	(7)	家庭教育事業参加者数	3,125人	1,794人	3,500人
		少年団体指導者研修会参加者数	62人	50人	80人

（注1）主な社会教育施設・・・生涯学習センター（児童館除く）→＜新市民会館開館後は、新市民会館＞、飯山総合学習センター、東小川公民館、図書館（中央・綾歌・飯山）、コミュニティセンター

（注2）地域コーディネーター・・・学校と地域の橋渡し役として、学校の抱える諸問題と地域活動を結び付け、子どもの育ちや学びを支えていく体制づくりを推進する者

（注3）地域学校協働活動・・・地域の高齢者や保護者、PTAなど、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

（注4）コミュニティ・スクール・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地域住民や保護者等の意見を学校運営に反映させる仕組みとして、「学校運営協議会」を設置している学校

基本目標 1 多様な学びのための環境づくり

基本施策（1）誰でも学べる場の提供

《具体的施策①》 ICTの活用

会場に来られない方や若い世代の方など、新たな層の参加を促すために、生涯学習の新たな形として、オンラインなどを活用した講座や研修の開催、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信を行います。

主な取組	関連部署
・オンラインを用いた市民学級の開催 ・高齢者向けオンライン講座（レベル別）の開催 ・社会教育施設やコミュニティセンターの職員向けオンライン講座事前研修の開催 ・SNSを活用した各種情報発信	広聴広報課 情報政策課 生活環境課 生涯学習課

回答部署 広聴広報課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・SNSによる情報発信手段を増やすため、市公式FaceBook、Instagramに加え、市公式LINE、twitterの導入・運用について検討した。
令和4年度の取組内容に対する評価
・令和5年度中の運用開始に向け、計画通り進めている。
令和5年度の事業計画
・市公式LINE、twitterの運用開始を予定している。

回答部署 情報政策課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・高齢者向けに、民間事業者と連携して無料のスマホ教室を開催した。 ・綾歌、飯山地区のコミュニティセンター5か所で、計30回開催し105人が参加した。
令和4年度の取組内容に対する評価
・高齢者が身近な場所でデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる機会を提供できた。
令和5年度の事業計画
・前年同様、民間事業者と連携して無料のスマホ教室を開催する。

回答部署 生活環境課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ほとんどのコミュニティでは、ホームページを作成し、各種講座やイベント等の情報発信に努め、広く周知し、参加を促している。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ホームページの情報により様々な講座やイベントに多数の参加があった。ただ、ホームページ等の機器の利用が苦手な方への周知方法について検討の必要がある。

令和5年度の事業計画

- 引き続きホームページの更新や様々な情報を発信するとともに、ホームページ等の機器の利用が苦手な方への周知方法について検討する。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- 子育て世代の方を対象とした市民学級「子育て世代のマナー講座」をオンライン受講も可として開催した。（申込者12人の内オンライン受講8人）

令和4年度の取組内容に対する評価

- 子育て世代にオンライン受講は好評であったため、引き続きオンラインで受講できる機会を提供していきたい。ただ、申込者が定員（30人）の半分に満たなかったということもあり、オンライン受講を希望する層への周知方法については検討する必要がある。

令和5年度の事業計画

- 市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として実施予定。周知については、参加いただきたい世代の方に情報が届くよう広報誌、ホームページに加え、SNSなども活用しながら行う。

《具体的施策②》公共施設の有効活用

学びの場として、生涯学習センターや図書館などの既存の社会教育施設だけでなく、マルタスや今後建設予定の新市民会館に設けられる様々な機能も積極的に活用します。

主な取組	関連部署
・市民学級の開催 ・「児童館」を活用した学習機会の提供 ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園での発達段階に応じた絵本の読み聞かせ ・蔵書絵本の充実、保護者に向けた本の紹介、リスト作成、貸出 ・生涯学習クラブ活動への支援 ・新市民会館の整備、管理運営計画策定	子育て支援課 幼保運営課 図書館 生涯学習課 文化課

回答部署 子育て支援課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・コロナ対策を徹底し、安心して遊びを通じて様々なことが体験できる居場所の提供を行った。児童館来館者数31,942人（R3 22,583人） ・イベント（こども春の集い、夏の集い等）では、人数制限を行い、安全に考慮しつつ、学校や年齢の異なる交流の場の提供を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・年間来場者数は増加傾向にある。 ・ウイルス対策により開催できないイベントもあった。（ふじみ園地域交流フェスタ）
令和5年度の事業計画
・イベントを再開するとともに、新たな参加者を増やすためにSNSを活用した情報発信に取り組む。

回答部署 幼保運営課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
子どもたちは、遠足で丸亀城を散策したり、園外保育においてマルタスを訪れ、キッズスペースで有意義な時間を過ごした。また、子育て支援センターを開放して学びの場として活用できた。
令和4年度の取組内容に対する評価
学びの場として多くの公共施設を積極的に活用できた。
令和5年度の事業計画
今春ボートレースまるがめに誕生した「グリーンまるがめ」「モーヴィまるがめ」の訪問を推奨し、子どもの健やかな身体づくりを進める。

回答部署 図書館

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
3館の蔵書絵本の充実に努め、市内の幼稚園・保育所・こども園に除籍絵本を提供している（5館 80冊）。 - 国や市の施策に基づいた絵本の選書やコーナーの設置を行った（SDGsや男女共同参画等）。 - 図書館HP・図書館だより・市広報やおはなし会で絵本を紹介し、毎月テーマを変えて絵本の展示を行い貸出を行っている。
令和4年度の取組内容に対する評価
要望に応じ絵本の提供を行い、関連団体の蔵書絵本の充実を図った。毎月様々なテーマで絵本を紹介することにより保護者や児童のニーズに應えることができた。
令和5年度の事業計画
3館の蔵書絵本の充実に努めるとともに、市内の関連団体の要望に速やかに対応する。様々なテーマのコーナーの設置や、図書館HP・図書館だより・市広報やおはなし会で絵本を紹介し、読書を通じて学習の機会を提供する。

回答部署 文化課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・新市民会館の設計は、生涯学習活動を行っている方やさまざまな関係者とのヒアリングを重ねながら完了した。「丸亀市（仮称）みんなの劇場新築工事」他5件の工事請負契約を締結し、令和8年3月開館を目指している。
- ・管理運営計画を策定した。
- ・課題解決型実践事業は5回、アーティスト・コーディネーター養成講座は6回、文化芸術推進サポーター養成講座は23回それぞれ実施した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・市民会館の整備については、そこで行う事業をイメージし、設計に反映する他、避難安全検証法を適用した機能性の高い施設として設計を完了することができた。
- ・管理運営計画は、市民会館の指定管理を行う上での要求水準となるよう内容については十分精査し作成できた。
- ・課題解決型実践事業は、包括支援センターが行う認知症関連の取り組みに組み込んだ形で実践できたほか、幼保運営課の保育士研修の一環としてコミュニケーションワークショップを実施するなど、他課との連携を進められた。
- ・サポーター養成講座は新規参入する者や自主的活動が増えてきている。このようなことから、開館後の活用に向けて着実に取組みを進められており、今後も継続事業として実施すべきコア事業と考える。
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座については、参加者相互の対話による学びの機会になる他、自分の人生について見直す機会になった等の声もあり、深い学びの機会を提供できた。一方で、地域の中で具体的に活動できる人材が育ったとはいえず、事業の在り方を継続して検討する。

令和5年度の事業計画

- ・新築工事の実施
- ・指定管理候補者の公募、選定
- ・丸亀市民会館条例の制定
- ・課題解決型実践事業の実施
- ・文化芸術推進サポーター養成講座の開催
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座の開催

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・令和4年度市民学級を生涯学習センター、飯山総合学習センター、マルタスを主な会場として計32講座開催し、618名の受講があった。中には、図書館や美術館を会場とした講座も用意し、普段は立ち入ることのできない書庫などを見ていただきながら学ぶ機会を提供した。
- ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・市民学級においてマルタスを積極的に活用したことにより、参加者に新しい施設に慣れ親しんでいただくことができた。また、施設見学は受講者に好評だったため、来年度も取り入れていきたい。

令和5年度の事業計画

- ・令和5年度の市民学級は計34講座を用意し、ボートレース場や裁判所などの施設見学も予定している。
- ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続する。

《具体的施策③》コミュニティセンターにおける生涯学習活動の包括的支援

地域における生涯学習活動の拠点であるコミュニティセンターを活用し、地域における生涯学習活動を包括的に支援します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブ活動への支援 - 地域における生涯学習活動の相談対応 - 地域課題解決に向けた講座の充実	生活環境課 生涯学習課

回答部署 生活環境課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
地域の人々が、元気でいきいきと暮らせるよう、コミュニティで取り組む行事を開催している。
令和4年度の取組内容に対する評価
各部会がそれぞれの特色をいかし、コミュニティセンターを活用し、クラブ活動やイベント、研修会等を開催した。
令和5年度の事業計画
クラブ活動や研修など包括的に支援する。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
- 生涯学習クラブがコミュニティセンターで活動する際の施設使用料の減免措置を行った。（島しょ部を除く15コミュニティセンター、1分館） - コミュニティセンターを訪問し、地域における生涯学習推進の中心的な役割を担っている生涯学習推進員と現状や課題などについて意見交換を行った。（1コミュニティ当たり年間8回程度訪問）また、意見交換の際に出された「講師情報がほしい」という意見に対して、「丸亀市生涯学習人材バンク」の情報を提供した。
令和4年度の取組内容に対する評価
- 計234クラブの活動を支援することができた。 - 年度末に生涯学習推員を対象にアンケートを実施したところ、回答した13人の内の11人が、意見交換を「意味があったと思う」と回答していた。理由としては、「対面で話すことにより、本音の意見交換ができた」ということを多くの方が挙げていた。
令和5年度の事業計画
- 生涯学習クラブが活動する際の施設使用料の減免措置については、引き続き行っていく。 - 生涯学習推進員が横のつながりを持てるような研修会を開催する。

基本施策（２）ライフステージの課題に対応する学習機会の充実

《具体的施策④》青少年リーダーの育成

本市の将来を担うリーダーの育成に向けて、青少年の自立性・社会性を身につける体験活動や地域活動への参加機会の提供や視野を広げる活動を推進します。

主な取組	関連部署
・ 体験型活動の提供 ・ 交流都市との少年団体交歓研修の開催 ・ 子ども会によるジュニアリーダーの養成支援 ・ 新成人との協働による成人式の開催	学校教育課 生涯学習課

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 小学校では、地域の方を指導者にお招きした米作りや野菜作り体験、地域のクリーン活動への参加を行った。中学校では、地元企業を中心に様々な職種の企業に協力していただき地元企業PR事業や職場体験学習を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・ 市内小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし行うことができた。体験前後の事前・事後指導を充実することで、児童生徒の意欲や充実感の向上が見られた。
令和5年度の事業計画
・ 昨年度までと同様、各小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし計画的に行っていく。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・自然体験活動（キャンプ協会委託：延べ140人参加）、海釣り体験活動（大石水産委託：親子18組参加）を開催した。
- ・親子都市の北海道京極町と交歓研修会を実施した。（8月受入、3月派遣）
- ・令和5年二十歳の成人式では、実行委員として10名と協働し式典を開催した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・自然体験活動委託については、コロナウイルス感染症の影響により3年振りの開催となった。海釣り体験活動については、定員10組に対し146組の申込があり、定員を20組に増やした。コロナウイルスの影響で体験活動を体験できていない子どもに機会を提供でき良かった。
- ・京極町との交歓研修もコロナウイルスの影響で中止が続いており、令和元年の8月以来の実施となった。本来は派遣のみの実施年度であったが、近年中止が続いていたこともあり、受入と派遣の両方を行った。
- ・二十歳の成人式では、本式典が参加者の心に残るものとなるようにするため、新たな試みとして、実行委員発案の「一丁締め」と「将来の夢や目標のロビー展示」（51件）を行った。

令和5年度の事業計画

- ・引き続き自然体験活動をキャンプ協会に委託し実施する。昨年は海釣り体験活動だったが、今年度は違う体験活動を実施するよう内容を検討中。
- ・京極町との交歓研修会は、受入を予定している。
- ・二十歳の成人式も引き続き実行委員を募集し、式典に携わってもらう予定である。

《具体的施策⑤》働く世代や子育て世代の学ぶ機会の充実

働く世代や子育て世代に対し、参加しやすい内容等を考慮した学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・オンラインでの市民学級の開催 ・民間団体等が主催する講座、研修会の情報発信 ・生涯学習センター、公民館等社会教育施設主催講座（メンズ料理教室、親子リトミックなど）の情報提供	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 生涯学習課

回答部署 健康課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・マイナス1歳の子育て講座の開催を会場参加とオンラインで参加するハイブリッド方式で講座を実施した。
令和4年度の取組内容に対する評価
・参加者226組中47組がオンラインを利用して教室に参加した。アンケート結果などから、コロナ感染症リスクだけでなく、妊娠中の体調を心配することなく参加できる、人数制限なく家族で参加できることなどから、オンライン方法での実施を評価する内容があった。
令和5年度の事業計画
・引き続き、教室開催年間15回のうち12回についてハイブリッド方式で実施する予定。

回答部署 子育て支援課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・対象となる人が参加しやすい時間帯や曜日を考慮した親子講座を開催し、交流の場を提供した。（えいごにチャレンジ、描こう！アートなど） ・NPO等が実施する講座の情報を発信した。（丸亀市ホームページ「みてねっと」など）
令和4年度の取組内容に対する評価
・参加アンケートでは、大部分が良好な評価をいただいている。
令和5年度の事業計画
・引き続き参加しやすい講座を企画していく。 ・開催する講座等を多くの人に認知されるよう、市のホームページやSNSなどで周知する。

回答部署 幼保運営課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 保護者に対し、民間団体主催の講座や社会施設主催講座の情報提供を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・ 新型コロナウイルス感染症が流行し、研修会を積極的には行えなかったのはやむを得なかった。一方、各種行事の情報提供を行い、可能な範囲で学習機会の充実を図れた。
令和5年度の事業計画
・ 研修会等を開催するとともに、各種行事の情報提供を行い、今後も学習機会の確保に努める。

家庭教育に関する学習機会と情報提供の充実を図ります。

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市家庭教育セミナー合同研修会に後援として協力し、各小中学校で会員に向け、パンフレットの配布とPTA役員への周知及び参加依頼を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・ ハイブリッド開催（会場30名、YouTubeリアルタイム視聴65名）での参加者はやや少なかったが、見逃し配信（R5/2/3現在）は856回あり、1割くらいの会員が視聴した。
令和5年度の事業計画
・ 昨年度と同様、パンフレット配布やPTA役員への周知等について継続する。

回答部署 図書館

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- 図書館の3館連携事業として、杉山亮先生ものがたりライブ（参加者123名）、藤原まゆみ先生読み聞かせ研修会（参加者68名）を開催し、子どもから大人まで幅広い世代が参加した。
- 郷土にまつわる歴史講座（年6回 329名）はボランティア団体と連携し開催した。
- 他課や民間団体等が主催する講座等について図書館内にチラシを掲示し情報発信した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ものがたりライブや読み聞かせ研修会の実施により、読書や読み聞かせの楽しさを伝える機会を提供することができた。
- 歴史講座においては郷土の歴史に関する様々な内容の講座を実施し普及啓発に努めることができた。
- 他課や民間団体等と連携し効果的な展示を行い、情報提供に努めた。

令和5年度の事業計画

- 引き続き、読み聞かせの研修会を開催する予定としている。
- 歴史講座においては、引き続きボランティア団体と連携し、郷土の歴史に関する講座を年6回開催する。
- 他課や民間団体等との連携を強化して情報発信し、来館者にも学習機会を提供する。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- 子育て世代の方を対象とした市民学級「子育て世代のマネー講座」をオンライン受講可能として開催した。（申込者12人の内オンライン受講8人）
- 生涯学習課窓口に放送大学や生涯学習センターで開催する講座のチラシを設置した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- 子育て世代にオンライン受講は好評であったため、引き続きオンラインで受講できる機会を提供していきたい。また、そのほかの講座についても子育て世代が参加しやすいよう、託児についても検討したい。
- 生涯学習課を訪れた人に、情報発信、情報提供を行うことができたが、生涯学習課を訪れる人は固定化されている傾向があるため、幅広い層に情報発信、情報提供できたかは疑問である。

令和5年度の事業計画

- 市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として実施予定。また、今年度から、全講座について託児を行う。
- 窓口以外にも情報発信、情報提供できる機会がないか随時検討する。

《具体的施策⑥》高齢者の学習機会の充実

高齢者が今後の生き方を自ら積極的に考えるための、生きがいや暮らしにつながる講座、健康づくりのための講座等の学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・介護保険制度等、暮らしに直結する講座の開催（市民学級等） ・健康や福祉に関する知識を向上させるための講座の開催 ・高齢者のデジタル格差解消に向けた講座の開催	健康課 高齢者支援課 福祉課 生涯学習課

回答部署 健康課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・市民を対象とした生活習慣病予防や健康づくりについての各種健康教育を各コミュニティセンターや保健センター等で計1,300回実施・延42,561人参加(内65歳以上の延36,920人)
令和4年度の取組内容に対する評価
・コロナ禍ではあったが、感染症対策を行いながら、各種健康教育を実施。回数・参加数とも前年より増加し、コロナ禍以前の状況に戻りつつある。あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発できた。各コミュニティセンター等での講師による健康教育については、講師の選定や内容、周知等コミュニティと連携して実施でき、概ね好評であった。
令和5年度の事業計画
・前年度と同様に、あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発していく。また、各コミュニティセンターや保健センター等で講師を招聘しての健康教育についてもコミュニティと連携して実施していく。

回答部署 高齢者支援課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 出前講座を活用した体操教室などを13回実施。 ・ これとは別に実施している、地元自治会等での「元気いっぱい！長生き体操」などの教室を40か所で開催 ・ 各地区コミュニティセンターにおいて定期的に実施している「介護予防のための体操教室」など247回実施
令和4年度の取組内容に対する評価
・ 介護予防を意識していただく教室開催は回数も多く、また家に近い場所で行っていることから居場所づくりにもつながっていると考える。さらには、自らの生き方を健康という観点で考えることにもなっており、不調になった際、介護保険制度に橋渡ししていくことにも一役買っている
令和5年度の事業計画
・ 一般介護予防という観点で開催している各種体操教室を継続実施する。そのうえで、自分らしく生きるという意味では、高齢者就労の話や介護保険制度の仕組み、終末期の準備講座など多岐にわたる講座を出前講座や別途、市主催の市民公開講座などで高齢者向けに周知啓発する

回答部署 福祉課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 要請により、健康や福祉に関する知識を周知する出前講座を実施している
令和4年度の取組内容に対する評価
・ 令和4年度実績なし
令和5年度の事業計画
・ 今後も出前講座を通して健康や福祉に関する知識の向上に努める。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・ 終活や相続税、贈与税などに関する講座を市民学級で開催した。（7講座、187人受講）

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・ 終活や税金など、ここ数年求められている内容の講座を、四国税理士会丸亀支部の協力を得ながら開催することができた。

令和5年度の事業計画

- ・ 税金、終活、介護保険制度、シニア向けのスマートフォンに関する講座などを開催予定。

基本施策（３）現代的な課題に対応する学習機会の充実

《具体的施策⑦》生涯学習推進員による取組への支援

地域における生涯学習のキーパーソンとなり、学びを通して「人」や「地域」をつなぐ役割をもつ生涯学習推進員を支援し、コミュニティセンターを拠点として、日々の活動から見えてくる地域の課題やニーズを踏まえた生涯学習を推進します。

主な取組	関連部署
・地域いきいき講座の開催（まちづくり、防犯、防災などの地域課題や男女共同参画、消費者問題、環境問題、健康、介護などの現代的課題、子育てに関する様々な課題に対応した生涯学習講座） ・生涯学習推進員への相談対応の強化 ・地域いきいき講座で活用できる講師人材の紹介等による開催支援	生活環境課 生涯学習課

回答部署 生活環境課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域では、様々な内容の講座や教室の開催、防災意識の向上のための防災訓練に取り組んでいる。
令和4年度の取組内容に対する評価
・各種講座や教室に多数の方の参加があるが、「気候危機と災害級の異常気象の連鎖」と題した講演会を開催し、271名の参加があった。
令和5年度の事業計画
・コミュニティを中心とし、様々な課題に対応した研修を開催する。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域いきいき講座の実施（16コミュニティ、313件、7,533人） ・講座の企画に関して、他コミュニティでの講座内容や講師情報などの情報提供を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・ほぼすべてのコミュニティで地域いきいき講座を実施することができた。 ・地域での講座内容にマンネリ化の傾向が見られるため、生涯学習推進員が相談しやすい環境を作る必要がある。
令和5年度の事業計画
・地域いきいき講座の実施 ・生涯学習人材バンクの情報提供 ・生涯学習推進員研修などの機会を活用して、推進員同士が情報交換しやすいような環境づくりを行う

《具体的施策⑧》多様な立場の学習支援（障がい者、外国人など）

障がい者に配慮した学習情報やスポーツ・文化にふれる機会を提供し、社会活動への参加を支援します。

地域に暮らす外国人住民に、生活に関わる学習機会や地域住民との異文化交流・国際理解を深める場を提供します。

主な取組	関連部署
・多文化共生につながる講座の開催（多文化共生日本語教室、異文化理解講座、国際交流クッキング、写真パネル展）	秘書政策課
・障がい者向けスポーツ大会や教室の開催	福祉課 スポーツ推進課 文化課
・地域出前文化教室の開催	

回答部署 秘書政策課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習の支援を行った。また、多文化交流事業では異文化理解講座や写真パネル展の実施により多文化交流を図るとともに、防災講座を開催し、地域住民としての外国人が災害などへの理解を深める機会となった。
多文化交流事業：多文化グループで行く社会科見学、多文化共生防災講座①②、やさしい日本語交流会、異文化理解講座～アルゼンチン編～

令和4年度の取組内容に対する評価

日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習機会の確保に努めることができた。また、各種多文化交流事業の実施により、異文化への理解を深める場を提供するだけでなく、多文化防災講座等の開催により、地域住民としての外国人が安心して暮らせるための取り組みを行うことができた。

令和5年度の事業計画

- ・日本語教室を開催し、日本語の学習支援を行う。
- ・多文化共生につながる各種講座の開催（異文化理解講座、国際交流クッキング、写真パネル展等）

回答部署 福祉課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・障がい者向けスポーツレクリエーション教室の開催をリハビリテーションセンターへ委託し実施した。コロナ感染拡大中であったため実施回数が2回（30名参加）だったが、感染対策をしながらポッチャやカローリングをチーム形式で実施できた。
- ・市障がい者スポーツ大会はコロナ感染拡大防止のためやむを得ず中止した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・スポーツレクリエーション教室の開催により、障がいのある方へ社会参加やスポーツを通じた交流の機会を設けることができた。

令和5年度の事業計画

- ・スポーツレクリエーション教室を計5回実施予定
- ・市障がい者スポーツ大会を10月に実施予定

回答部署 スポーツ推進課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・障がい者向けスポーツ教室（1回）

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・コロナ禍のため思うように実施できなかった。

令和5年度の事業計画

- ・障がい者向けスポーツ教室（5回）
- ・障がい者スポーツ大会を10月に実施予定
- ・障がい者スポーツ体験会

回答部署 文化課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・綾歌総合文化会館では（一財）地域創造の助成による公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などを活用し、幼稚園・保育所、小学校、コミュニティへのアウトリーチ事業を37回実施し、3,050人が参加した。
- ・美術館では、商店街を遊べるアート空間として活用した、すごろくプロジェクトを実施し、1,808人が参加した。
- ・文化振興事業協議会では、東小川児童センター、マルタス、市役所ロビーで芸術体験プログラムとして、音楽や即興演劇などのアウトリーチ事業を8回実施した。
- ・文化芸術推進サポーター養成講座では、視覚聴覚障がい者に対応した映画上映会とトークイベントを実施した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・コミュニティセンターや学校・幼稚園のほか、人が訪れやすい公共施設でのアウトリーチ事業により、障がい者に限らず、様々な理由で文化施設に訪れることが難しい人たちにも文化芸術に触れてもらえる機会を提供した。
- ・国の臨時交付金や財団法人の助成金などの活用により、コロナ禍で減少していた鑑賞機会を回復させるよう積極的に取り組み、年度当初の計画を上回る回数と参加者数であったことから一定の成果は得られたと考えている。
- ・一方で、障がい者など対象者をより絞った事業については十分ではなかったため、令和5年度に予定している障がい者芸術活動実態調査なども参考に検討を進めたい。

令和5年度の事業計画

- ・指定管理者（福祉事業団、ミモカ美術振興財団）や文化振興事業協議会等と連携による出前鑑賞教室等アウトリーチ事業の実施
- ・上記に関して庁内の他部署との連携を図る

基本目標2 学びでつながり、学びを活かすまちづくり

基本施策（４）学びを通じたネットワークの形成

《具体的施策⑨》指導者人材の発掘、見える化

定住自立圏域市町との生涯学習人材に関する情報交換、登録制度を設け、コミュニティセンターや社会教育施設における各種研修、講座で活用します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習人材バンク登録制度の構築 - 人材データベースの定住自立圏域市町との共有	秘書政策課 生涯学習課

回答部署 秘書政策課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
年度当初・予算編成前の2回、定住自立圏域での関係市町間協議を依頼し、取組項目「生涯学習推進体制等の充実」において、生涯学習の人材データベースを構築するための進行管理に取り組んだ。
令和4年度の取組内容に対する評価
予定どおり取り組むことができた。
令和5年度の事業計画
引き続き、人材データベースの充実・圏域市町間での活用の推進に向けて進行管理を行う。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
- 令和4年度から人材バンク登録制度を開始し、55の個人および団体が登録した。また、人材バンク登録者の活用については、3件の活用があった。 - 定住自立圏域市町において、丸亀の人材バンクについて情報共有するとともに、丸亀市以外の1市3町が把握している人材情報をどのような形で圏域内において共有できるか検討した。
令和4年度の取組内容に対する評価
人材バンクの趣旨説明と、登録や活用について、これまで講師を務めてくれた人や生涯学習推進員に積極的に声かけを行ったことにより、人材バンク登録者数に関する初年度の目標を達成することができた。
令和5年度の事業計画
人材バンク登録人数の最終目標である100人に向け、引き続き声かけや周知を行う。また、定住自立圏域内においては、人材を共有・活用するためのルール決めを行う。

《具体的施策⑩》NPO、企業、大学等との積極的な連携・協働

NPOや企業、大学など、学びの機会を提供する団体等とのネットワークづくりを進め、主体的・効果的な学びにつなげます。

主な取組	関連部署
・ NPO、企業、大学等の企画、提案による講座の開催 ・ 企業の社会貢献活動と連携したワークショップ等の開催 ・ 大学等の研究機関が実施するフィールドワークへの支援	生涯学習課

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 市民学級において、コスモ不動産（2講座：33名受講）と四国職業能力開発大学校（5講座：71名受講）の提案型講座を開催した。
令和4年度の取組内容に対する評価
・ 提案型講座のすべての講座において、定員を超えたり定員近くの申込があった。多様なニーズがある中、民間企業を含めたさまざまな機関と協働し、引き続きニーズに添えていきたい。
令和5年度の事業計画
・ 引き続き提案型講座を実施する。（丸亀市文化財観光案内会、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、コスモ不動産、四国職業能力開発大学校）

《具体的施策⑪》生涯学習にもつなげる他分野施策との相互連携

教育や福祉、スポーツや文化芸術など、生涯学習と関わりのある分野との連携・強化を図り、事業を展開します。

主な取組	関連部署
・スポーツを通じた地域づくり ・教育や福祉との文化芸術を通じた連携 ・マルタスとの連携	学校教育課 福祉課 スポーツ推進課 文化課 生涯学習課

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・校長会等において、関係課からのスポーツや文化芸術のイベントの紹介を行った。 ・部活動地域移行に向けた、スポーツ推進課との情報交換会を3回実施した。また、スポーツ推進会議にも参加し、地域移行の進捗状況の説明とともに、スポーツ推進課と共に先進地への現地視察を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・市内児童生徒、またその保護者に、地域活動の情報発信ができています。 ・スポーツ推進会議に参加し説明を行うことで、丸亀市の現状を理解していただくことができた。 ・先進地への視察を行うことで、関係各課との連携について情報を得ることができた。
令和5年度の事業計画
・丸亀市地域部活動検討委員会（仮称）を定期的に関催（年間3回以上）することで、スポーツや文化活動を通じた学校と地域との交流事業や地域人材の情報交換を行い、丸亀市の実情に応じた部活動地域移行を推進していく。

回答部署 福祉課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・障がい者向けスポーツレクリエーション教室を2回（30名参加）開催した。 ・市障がい者スポーツ大会はコロナ感染拡大防止のため中止した。
令和4年度の取組内容に対する評価
・スポーツレクリエーション教室の開催により、障がいのある方へ社会参加やスポーツを通じた交流の機会を設けることができた。
令和5年度の事業計画
・障がい者向けスポーツレクリエーション教室の開催 ・市障がい者スポーツ大会を計画しており、各福祉団体や近隣の学生へ協力を呼びかけ、地域住民との交流や障がいのある方への理解促進を図る。

回答部署 スポーツ推進課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・チャレンジデー（65,075人）
- ・香川丸亀国際ハーフマラソン大会（7,858人）
- ・市民体育祭（1,200人）
- ・中讃陸上競技大会（450人）
- ・ウエスタンリーグ公式戦（7,136人）

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・延期や中止となっていたイベントにおいては感染症対策をとりながら実施できた。

令和5年度の事業計画

- ・チャレンジデー
- ・香川丸亀国際ハーフマラソン大会
- ・市民体育祭
- ・中讃陸上競技大会
- ・ウエスタンリーグ公式戦

回答部署 文化課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館において、ものづくりをテーマにしたワークショップや瀬戸フィルハーモニー交響楽団を講師としたオリジナル楽器を制作するワークショップなど35回を行い、650人の参加があった。
- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、「親子でMIMOCAの日」として常設展、企画展にて2日間ずつ開催し456人が参加した。
- ・綾歌総合文化会館では、優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するために、現代サーカスなどの鑑賞型事業を27回実施した。
- ・課題解決型実践事業として、認知症や子育てをテーマに演劇的手法によるワークショップを5回実施し、96人の参加があった。

令和4年度の取組内容に対する評価

本市文化芸術推進計画でも「子どもたちの文化芸術活動の充実」を重点施策として位置付け、子どもを対象とした事業を積極的に進めている。ワークショップも含めた多様な体験、鑑賞機会を提供できるよう、指定管理者のほか、大学や文化団体等とも連携して、計画に沿った事業が展開できている。豊かな感性と創造力を伸ばし育む等、文化芸術を通して教育や子育てに寄与できたと考えている。

また、福祉分野についても課題解決型実践事業において、認知症をテーマとしてワークショップを実施し、演劇により当事者を疑似体験してもらうことで、テーマに対してより理解を深める効果が得られている。

引き続き、文化芸術を通じ、他の分野と連携した事業を実施したい。

令和5年度の事業計画

- ・他分野と連携したワークショップの実施
- ・「親子でMIMOCAの日」の実施
- ・舞台芸術等の鑑賞機会の提供
- ・課題解決型実践事業の実施

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・マルタスと連携し、市民学級や香川県公民館研究集会を開催した。また、生涯学習クラブとして登録している団体の中から、マルタスに市民活動団体登録する団体も見られた。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・マルタスを会場として活用するだけでなく、生涯学習クラブの方が市民活動団体登録についてマルタス職員と対話することにより、活動の成果を地域へ還元する可能性が広がった。

令和5年度の事業計画

- ・引き続きマルタスで市民学級を行う。
- ・他課との連携も行っていけるよう調整する。

基本施策（５）学びの還元機会の創出

《具体的施策⑫》個人や団体が持つスキルを活かす場の創出

生涯学習活動を通じて得た知識や技能を活かす場を、活動発表の一面だけでなく、幅広く多面的に捉える意識の醸成、啓発を図ります。併せて、様々な地域課題の解決において、必要な場面と求められる人材をつなぐコーディネート機能の強化に取り組みます。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブによる活動発表機会の確保 - 地域学校協働活動への参画意識の啓発 - 地域貢献活動への参加促進に対する働きかけ - 社会教育士[※]の育成に向けた支援	生涯学習課

※社会教育士…生涯学習や地域づくりについての専門的な知識を学んだ人材。行政だけでなく、企業や学校等、広く社会において活躍が期待されている。（文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人）

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
- 丸亀中央生涯学習クラブ協議会への活動発表機会の支援として、事業補助金(18万円)を支出した。 - 各コミュニティセンターを活動場所としている生涯学習クラブについては、コミュニティ活動への参加や参画にもつながるクラブ活動であることの必要性をコミュニティセンター所長と共有した。 - 社会教育士の養成講座について関係機関へ情報提供を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
- 丸亀中央生涯学習クラブ協議会の活動発表機会（生涯学習まつり）はコロナ禍であったものの開催できたが、2日間で来場者577人という人数は、コロナ前と比べると半分以下となっているため、集客については改善を促す必要がある。 - 各コミュニティセンターを活動場所としている生涯学習クラブについては、コミュニティ活動への参加や参画が求められているということについて、所長に改めて認識していただくことができた。今後も継続的に、コミュニティと生涯学習クラブの両者に働きかける必要がある。 - 社会教育士の養成講座を1名が受講した。
令和5年度の事業計画
- 引き続き活動発表機会の確保を行う。また、より多くの方に来場していただけるよう、広報やまつりの内容を充実させる。 - 地域学校協働活動を広報するとともにボランティアへの参加を呼び掛けるためのチラシを作成・配布する。

《具体的施策⑬》学校・地域における活動を支える人材の発掘・育成

学校や地域が抱える諸問題と地域学校協働活動を結びつけ、学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーターの発掘、育成及び支援を行います。

主な取組	関連部署
・地域コーディネーター養成塾の実施、受講者のニーズや各地域の状況に合わせた内容の充実 ・地域学校協働活動への参画意識の啓発 ・学校や地域が抱える諸問題解決のための人材交流及び意見交換会の開催	学校教育課 生涯学習課

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・学校運営協議会委員に、地域コーディネーターも任命し、学校運営への参画、支援、協力をお願いした。
令和4年度の取組内容に対する評価
・学校の運営状況を理解した上で、教育活動に協力してくださった。また、さまざまな視点からご意見をいただき、次年度構想の参考にもなった。
令和5年度の事業計画
・さらに、地域コーディネーターの各連携協議会への参加を推進し、学校と地域の調整役となっていく。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾を実施し、9名が修了した。（受講者12名、計6回）また、すでに地域で活動しているコーディネーターと養成塾生との交流機会を養成塾の1コマとした。
令和4年度の取組内容に対する評価
・講座終了後に行ったアンケート結果によると、「他校区のコーディネーターと横のつながりを作る」という目標に対する参加者の達成度が低かった。目標と、目標に合った内容について検討が必要である。
令和5年度の事業計画
・講座の目標を明確にしたうえで目標達成に効果的な内容となるような地域コーディネーター養成塾を実施する。 ・地域学校協働活動を広く知っていただくため、地域学校協働活動に関する広報チラシを作成・配布する。また、地域学校協働活動について紹介する講座を、市民学級の講座の一つとして設ける。

基本目標3 まち全体が学校となる環境づくり

基本施策（6）地域と学校の連携・協働の推進

《具体的施策⑭》地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進

「学校を核とした地域づくり」を目指して、コミュニティ・スクールの仕組みと、地域学校協働活動の様々な活動を連携させることにより、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して、学校運営の改善と地域づくりに資する活動の活性化を推進します。

主な取組	関連部署
・学校や地域への地域コーディネーター養成塾などの研修機会の情報提供と参加促進の働きかけ ・小中・地域連携教育連携協議会での取組事例の紹介及び情報交換 ・国、県の情報活用及び全国的な取組事例の情報発信	学校教育課 生涯学習課

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催し、各校での「小中連携」「地域連携」の取組について情報交換を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・「小中連携」については、交流活動を通して、児童生徒の学習活動がより豊かになるとともに、小学校から中学校へ滑らかな接続を図ることができた。また、情報交換することで小学校と中学校それぞれが目標を共有化することもできた。「地域連携」については、各学校群の特色を生かし、地域人材の活用による円滑な連携を進めることができた。
令和5年度の事業計画
・昨年度までと同様、各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催する。連携協議会で成果を検証し、学校、地域の実情に応じた取組の精選を図る。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾と県教委が主催する地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に係る研修会について各コミュニティおよび各小学校へ情報提供と受講の働きかけを行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
・受講の働きかけを行ったが、受講者数は少なかった。地域コーディネーターからの希望が多い先進地視察について、次年度の研修に取り入れられるかどうか検討する必要がある。
令和5年度の事業計画
・地域コーディネーター養成塾を開催し、先進地視察など、講座の内容によっては講座生以外の地域コーディネーターにも参加を呼び掛ける。

≪具体的施策⑮≫地域で取り組む子どもの学習支援の充実

豊かな人間形成に役立ち、学習活動を通じた地域の活性化につながる地域の教育資源（人・場所・歴史・文化）を活かした学習・体験活動、子どもの居場所づくりを支援します。

主な取組	関連部署
- 地域の教育資源を活かした取組（地域学校協働活動の農業体験、放課後子供教室の学習支援等）の現地視察を通じて地元の活動に活かすよう働きかけ - 生涯学習人材バンク登録を通じて得た地域の教育資源を必要な活動場面につなぐ働きかけ	子育て支援課 幼保連営課 教）総務課 学校教育課 生涯学習課

回答部署 子育て支援課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
- ひとり親家庭や生活困窮家庭を対象に、市内3か所で居場所を設置し、小中学生の学習支援と食事の提供を週1回程度実施した。 - こども食堂を市内で各支援団体が運営した。（8か所）
令和4年度の取組内容に対する評価
学習支援は塾等に行けていない児童対象のため、好評であった。同事業では、フードパントリーや相談対応も実施し、保護者の支援にもつながった。
令和5年度の事業計画
引き続き居場所やこども食堂の開設を支援する。

回答部署 幼保連営課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
子どもたちは地域の公園・ため池・神社を訪問したり、農業をはじめとする様々な体験を行った。
令和4年度の取組内容に対する評価
地域の人と触れ合い、自然や文化に親しみ、子どもの学習・体験活動を支援することができた。
令和5年度の事業計画
園と地域とのつながりは深く、引き続き地域の教育資源を活用して学習・体験活動を行い、子どもの成長を支援する。

回答部署 教育部総務課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
放課後子供教室を平日や長期休暇期間等に地域の実情に応じて行うことで、地域住民との交流につながった。
令和4年度の取組内容に対する評価
令和4年度に新規開室した教室があり児童と地域との交流の場が広がったが、閉室した教室もあり担い手の高齢化や人手不足が課題である。
令和5年度の事業計画
放課後子供教室の学習支援等体験活動にすべての児童が参加できるよう青い鳥教室との連携事業を行える働きかけを両事業実施者に行う。担い手不足の課題については、広報誌等により周知していきたい。

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
学校支援ボランティアの方々が、各校の実情、ニーズに応じて、あいさつ運動や野菜の栽培、ミシンや彫刻刀の指導の補助等に関わってくださった。
令和4年度の取組内容に対する評価
地域の方の協力を得ながら、自然体験活動や様々な意義のある活動を体験することができ、児童生徒の教育活動がより豊かなものとなった。
令和5年度の事業計画
定期的に協議をし、昨年度実施した活動を検証することで、更なる活動の充実を図る。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
生涯学習人材バンクへの登録を進めた。
令和4年度の取組内容に対する評価
生涯学習人材バンクの活用はほとんどできていない。
令和5年度の事業計画
子どもの学習活動を支援できる方に対して生涯学習人材バンクへの登録を促すとともに、生涯学習推進員など、地域で子どもを対象とした講座を企画する人に対して、生涯学習人材バンクの周知・活用を働きかける。

（７）地域・家庭の教育力の向上

《具体的施策⑩》家庭教育支援の充実

行政と保育所、幼稚園、認定こども園、学校、PTA、NPOなどが連携した、家庭教育に関する学習機会と情報提供の充実を図ります。

主な取組	関連部署
- 母子保健支援事業を活用した家庭での健康づくり - 地域子育て支援拠点事業における家庭教育の場の充実 - 家庭教育事業（家庭教育セミナー、子育て学習会、家庭教育講座）の開催 - ボランティア団体による本の読み聞かせ等	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 生涯学習課

回答部署 健康課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
- 各地区コミュニティセンター等で実施するウエルカム広場参加者へ、毎月、季節や成長段階に応じたリーフレット「育19だより」を作成し、家庭で健康づくりに取り組めるよう保健指導を実施。 - 母子愛育班連絡協議会と連携し、連絡協議会主催または各地区愛育班活動等で、会員や地域住民が家庭で健康づくりに取り組めるような健康づくりに関する健康教育などを実施。
令和4年度の取組内容に対する評価
- コロナ禍においても中止することなくウエルカム広場を開催することができた。前年に比べ参加者も増え2895人の参加があった。11月は歯科医師会と連携し、歯科衛生士による保健指導を実施し、歯の健康づくりに取り組んだ。 - 愛育班活動では、女性の健康や、感染症予防など季節ごとの健康づくり、心の健康づくりなどについて健康教育を実施。各地区愛育班活動で590人、市連絡協議会の研修会では340人の参加があった。
令和5年度の事業計画
- 各地区コミュニティセンター等で継続してウエルカム広場を実施予定。妊娠期から健康づくりに取り組めるよう、母子保健推進員等と協力し参加を呼びかける。 - 愛育班では、市連絡協議会の研修会や各班での活動を計画。声をかけあって健診を受け、健康づくりに取り組めるよう支援する予定。 - 子育てアプリを活用し、健康づくり情報等について対象の属性に適した内容をプッシュ通知により発信する予定。

回答部署 子育て支援課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・多胎児育児に特化した取り組みや、0, 1, 2歳児の子育て家庭だけの参加ではなく、地域住民との世代間交流ができる取り組みを実施し、コロナ禍ではあったが継続して事業運営を行った。
- ・3年ぶりに「子育てフェスタ」を開催し、子育て家庭への情報提供や交流ができていた。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・在宅の子育て家庭の悩みや不安を相談できる場所となるよう、各拠点が工夫して取り組めた。「フェスタ」の開催は活気が戻り、こどもと保護者が楽しめる必要なイベントとして認識されよかった。

令和5年度の事業計画

- ・子育て家庭の身近な場所として、拠点に足を運び、参加することで、相談から支援へつながるように、周知する。

回答部署 幼保運営課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・幼稚園等では家庭訪問を行ったり、子育て支援センターでは子育て世代の保護者に対し、育児の悩みなどの相談に気軽に応じた。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・保護者と話し合う機会をもち、また、子育て支援センターの活用を呼びかけ、家庭教育の支援を積極的に行えた。

令和5年度の事業計画

- ・引き続き保護者との対話を通じ、家庭教育に関する学習機会と情報提供の充実を図る。

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市家庭教育セミナー合同研修会に後援として協力し、約100名の会員が参加した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・丸亀市家庭教育セミナーはここ数年間、情報モラルに関する取組内容を継続している。4年度はネット・ゲーム依存を対象とする病院の院長を講師として迎え、医療的な視点から心身の弊害についての説明があり、幅広い年代層で高い関心が示された。

令和5年度の事業計画

- ・丸亀市PTA連絡協議会では、これまでの取組内容を生かして、新たな視点での講演を予定している。ハイブリッド開催について、視聴する機会を増加することにつながるため、継続する予定。

回答部署 図書館

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・図書館のおはなし会等において、読み聞かせボランティア団体と連携し、本に触れる機会の充実を図った。おはなしの会くれよん（月1回 226人）マロンベアおはなし会（月1回 117人）図書館うさぎ（年8回 62人）

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・3館の各館においておはなし会を行い、地域ごとに読み聞かせの機会を提供できている。

令和5年度の事業計画

- ・引き続き、3館でおはなし会を開催し、絵本に接する場を設け、家庭での読み聞かせに活用できる機会を提供する。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- 家庭教育事業（家庭教育セミナー：30人参加、子育て学習会：15小学校延べ950人参加、25幼保こ延べ513人参加、家庭教育講座：10小幼保こ延べ301人参加）を実施した。

令和4年度の取組内容に対する評価

- コロナ禍であったため、家庭教育セミナーはオンラインでも実施した。また子育て学習会と家庭教育講座については1園ずつ中止があった。

令和5年度の事業計画

- 引き続き家庭教育事業など学習機会の提供と情報提供を図る。

《具体的施策⑰》社会教育関係団体等への育成支援

家庭や地域の教育力向上を図るため、様々な活動をする各種団体の支援・連携を行います。

主な取組	関連部署
・PTA、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの支援 ・NPO法人等との協働事業の実施 ・少年団体指導者研修会の開催	学校教育課 生涯学習課

回答部署 学校教育課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・丸亀市PTA連絡協議会の事業に対し、各学校及び各学校単位PTAが協力しやすいよう働きかけ、PTA活動の活性化につながった。
令和4年度の取組内容に対する評価
・新型コロナウイルス感染症の拡大のため、多くの行事が中止または縮小されたが、ポスターなど児童生徒の作品募集やPTA広報誌作成など、各学校や単位PTAに協力するよう働きかけ、優れた作品や広報誌が集まった。
令和5年度の事業計画
・新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、丸亀市PTA連絡協議会の事業が、通常に戻りつつある中、各学校や単位PTAが協力しやすい環境を継続していく予定である。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（3,529千円）、ボーイスカウト2団とガールスカウト1団に活動補助（各22千円）を支出した。 ・少年団体指導者研修会を11/25に開催し、計41名の参加があった。
令和4年度の取組内容に対する評価
・各団への補助額はここ数年変わっておらず、この金額が妥当であるか検討する必要がある。 ・指導者研修会は、コロナ禍でありながら部屋の定員近くまで参加があった。内容（テーマ：「障害のある子どもたちへの接し方」）についても好評であった。
令和5年度の事業計画
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（3,529千円）、ボーイスカウト1団とガールスカウト1団に活動補助（各22千円）を予算措置。補助金については、今年度検討予定。 ・指導者研修会も開催予定で内容検討中。

《具体的施策⑩》家庭における読書活動の推進

子どもが本に親しむきっかけをつかみ、読書習慣を身に付けていくための支援を行います。

主な取組	関連部署
・うちどく(家読)の推進 ・ブックスタート、セカンドブック等の実施 ・コミュニティセンターの読書環境の充実	図書館 生涯学習課

回答部署 図書館

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・家庭での読書習慣を身に付けるため、市内の赤ちゃんに絵本を配布するブックスタート事業（709人）と小学校就学前の子どもに絵本をプレゼントするセカンドブック事業（865人）を実施。コミュニティセンター（2か所）においては図書館員による書架整理を実施し、読書環境の充実に努めた。離島の読書環境の向上のため、市民センターで返却・予約ができるよう協力を要請。読書通帳の配布やティーンズコーナーの設置も引き続き行った。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・セカンドブック事業においては対象年齢の87%の子どもたちに絵本をプレゼントすることができ、読書習慣のきっかけづくりに役立っている。コミュニティセンターにおいても環境整備をすることにより、利便性を高めることができた。

令和5年度の事業計画

- ・ブックスタート事業・セカンドブック事業について引き続き実施。読書通帳の配布、絵本コーナー、ティーンズコーナーなどの設置。コミュニティセンターの読書環境の充実に努める。

回答部署 生涯学習課

令和4年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・毎月1回、生涯推進員を対象に発行した学習通信の中でコミュニティセンターの図書コーナーの必要性に触れた。

令和4年度の取組内容に対する評価

- ・具体的な取り組みには至っていないのが現状である。

令和5年度の事業計画

- ・生涯学習推進員や図書館と連携し、図書コーナーの充実など、コミュニティセンターの読書環境の充実に努める